



定期購読誌 “いのちびと”



読者サポーター募集のお願い！

“いのち”に向き合う人の思い、生き方・働き方を通じて、
生きる幸せをみつめる “いのちの冊子” です。

★家庭、学校、職場などで、定期購読ください。

★お友だちやお仲間に、ご紹介ください。

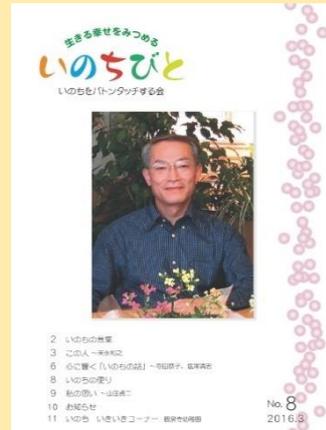
心の教育、心のビタミン剤、社会貢献活動として

「いのちびと」

- ・発行元 いのちをバトンタッチする会
- ・編集/執筆 鈴木中人
- ・発行 1,3,5,7,9,11月(隔月、年6回)
- ・仕様 A4 12ページ、カラー

<主な内容>

- ・いのちの言葉 (巻頭メッセージ)
- ・この人 (いのちに向き合う人の特集)
- ・心に響くいのちの話
- ・いのちの便り
- ・私の思い (各分野の実践者からの寄稿)
- ・いのちいきいきコーナー 協賛サポーター名



<読者サポーター> … 申込方法は裏面をごらんください

- ①定期購読 (1冊/1回×6回/年、1500円/年～)
- ②サポーター協賛 (50冊/1回×6回/年、3万円/年、ご芳名を「いのちびと」掲載)
- ③当会賛助会員に入会

読者メッセージ

Aさん(お母さん)

人生の困難を乗り越えながらも
生きるみなさんの姿に、感動と勇
気がもらえます。

毎回、家族全員でしみじみと読ま
せてもらっています。次号が本当
に楽しみです。

Bさん(学校の先生)

紙面もカラーで、とっても素敵な
内容です。いろいろな人との一コ
マが、心に温かく伝わってきます。

同僚に回覧したり、生徒にも朝礼
などで話しています。

Cさん(経営者)

毎号、興味深く読ませてもらって
います。自分の使命や仕事への
思いに目覚めていく姿が印象的
です。

社員に配り、応接ロビーにも置い
てお客さんにも勧めています。

Dさん(出版社社長)

いろいろな人が登場されている
のに驚きました。みなさんの言葉
には魂があります。

よき人の賛同を得て、いのちの輪
が広がっていくことを嬉しく思い
ます。これからも楽しみです。

■読者サポーターの申込方法

◆STEP1 = 次の3つの購読方法よりお選びください

①定期購読

- ・1冊/回×6回=1500円/年、2冊:1800円、3冊:2100円 10冊:5500円 (税・送料込)

②「いのちびと」に協賛

- ・50冊/回×6回=30000円/年 1口
- ・ご芳名を「いのちびと」の「私たちも応援します」ページに掲載

③当会(いのちをバトンタッチする会)賛助会員に入会

- ・毎回1冊を無料でお届けします。 当会主催のイベント割引、関係図書のご呈も(不定期)
- ・個人賛助会員(入会金、年会費:各5000円より) 法人賛助会員(同:各10000円より)

◆STEP2 = 末尾の申込書をFAXください

◆STEP3 = 事務局より折ってご連絡いたしますので、代金等をお振込みください。

FAX 052-581-8686

いのちをバトンタッチする会行

「いのちびと」読者サポーター申込書

お名前	(申込日 月 日)		
住所	〒 —		
メール等	電話	FAX	
	メール		
コース 該当にレ下さい	<input type="checkbox"/> ①定期購読 (1年計6回お届け) <input type="checkbox"/> 1冊(1500円) <input type="checkbox"/> 2冊(1800円) <input type="checkbox"/> 3冊(2100円) <input type="checkbox"/> 10冊(5500円)		
	<input type="checkbox"/> ②「いのちびと」に協賛 (1年、50冊/回×6回お届け) *「いのちびと」の「私たちも応援します」欄にご芳名を掲載		
	<input type="checkbox"/> ③いのちをバトンタッチする会に入会(1冊無料でお届け) <input type="checkbox"/> 個人賛助会員=入会金5000円、年会費5000円/各一口より <input type="checkbox"/> 法人賛助会員=入会金10000円、年会費10000円/各一口より * 当会主催のイベント料金の割引、関係図書のご呈(不定期)など		

いのちびと ご登壇者例

○「この人」

11号:伊藤敦子(看護師)、10号:安藤友治(安藤建築会長)、9号:山本恵子(NHK記者)、8号:末永和之(すえなが内科在宅クリニック院長)、7号:細谷演夫(中学校長)、6号:高橋美佐子(朝日新聞記者)、5号:上原理恵(ひなたぼっこ社長)、4号:松井秀文(元アフラック会長)、3号:長谷川嘉哉(土岐内科クリニック院長)、2号:江場康雄(エバ会長)、1号:小出朋子(丸小女将)

○「いのちの話」

11号:辻宏夫(辻安全サービスセンター所長)、淡路啓二(日医工山梨グループ社長)、10号:今井浩詞(アンプリアライブ社長)、金澤志保(ハレスタジオ代表)
9号:杉本春美(愛知県教育委員会)、熊田光伸(クマガ社長)、8号:寺田恭子(名古屋女子短期大学教授)、塩澤清志(末木組社長)
7号:杉浦三代枝(スギ製菓会長)、松田くるみ(宮崎中央新聞社長)、6号:中澤明子(せんねん村理事)、高橋啓一(すし遊館社長)
5号:藤巻正夫(レジオン社長)、石黒功(イノチホールディングス代表)、4号:菱田さつき(プレジャー企画社長)、木南一志(新宮運送社長)
3号:山口直彦(ギルドデザイン社長)、2号:白鳥宏明(白岩運輸社長)、1号:森清次(岩本製菓社長)

○「私の思い」

11号:富田裕之(れいろう編集人)、10号:田中義人(ナカヤマグループ代表)、9号:八巻力也(弁護士)、8号:山田貞二(愛知県教育委員会)、7号:加藤景司(加藤製作所社長)、6号:玉置崇(岐阜聖徳学園大学教授)、5号:中馬幸子(ことづくりプランナー)、4号:安藤明夫(中日新聞記者)、3号:曾根康正(SMCホールディングス代表)、2号:西村徹(小学校教諭)、1号:安藤友治(安藤建築会長)